



Fig. 7. Relations between appent absorption (%) and dietary intake of Ca(n=109), Mg(n=109) and P(n=997)

Ca

バランスがゼロとなる摂取量 11.75mg (Fig.3) ($r^2=0.036$)・・・(Ca-1)

バランスがゼロとなる吸収量 3.148mg (Fig. 4) ($r^2=0.382$)

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.425$)

$y=1.755x+6.004=1.775*3.148+6.004=11.53\text{mg}$ ・・・(Ca-2)

尿中排泄量と吸収量が等しくなる吸収量 (Fig. 2) ($r^2=0.327$)

$y=0.465x+1.496$ $x=1.496/(1-0.465)=1.496/0.535=2.79626$

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.425$)

$y=1.755x+6.004=1.775*2.79626+6.004=10.97\text{mg}$ ・・・(Ca-3)

Mg

バランスがゼロとなる摂取量 4.548mg (Fig.3) ($r^2=0.018$)・・・(Mg-1)

バランスがゼロとなる吸収量 1.787mg (Fig. 4) ($r^2=0.349$)

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.451$)

$y=1.484x+1.743=1.484*1.787+1.743=4.395\text{mg}$ ・・・(Mg-2)

尿中排泄量と吸収量が等しくなる吸収量 (Fig. 2) ($r^2=0.486$)

$y=0.569x+0.642$ $x=0.642/(1-0.569)=0.642/0.431=1.489559$

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.451$)

$y=1.484x+1.743=1.484*1.489559+1.743=3.954\text{mg}$ ・・・(Mg-3)

P

バランスがゼロとなる摂取量 22.58mg (Fig.3) ($r^2=0.103$)・・・(P-1)

バランスがゼロとなる吸収量 15.444mg (Fig. 4) ($r^2=0.135$)

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.959$)

$y=1.505x-0.675=1.505*15.444-0.675=22.57\text{mg}$ ・・・(P-2)

尿中排泄量と吸収量が等しくなる吸収量 (Fig. 2) ($r^2=0.908$)

$y=0.888x+1.667$ $x=1.667/(1-0.888)=1.667/0.112=14.8839$

そのときの摂取量 (Fig. 1) ($r^2=0.959$)

$y=1.505x-0.675=1.505*14.8839-0.675=21.73\text{mg}$ ・・・(P-3)

表 2. EAR 算出に用いた数式